

U S フォーラム 2026

(静岡県立大学学術フォーラム)



— 静 岡 県 立 大 学 —
— 静岡県立大学短期大学部 —

研究要旨

教員特別研究推進

No.	テーマ	学部	代表者	
1	大学体育における初級者のテニス技術と心身の健康に寄与する多面的能力を育む心理教育指導の試み	薬	准教授	窪田 辰政
2	アウトリーチ研究事業「漢方の基礎学習と薬草園見学会」2025	薬	教授	渡辺 賢二
3	静岡県の子ニーズにあった異分野融合教育・研究の推進による人材育成プログラムの構築	薬	教授	森本 達也
4	薬剤師国家試験対策の充実化に向けた教育環境の整備	薬	教授	轟木 堅一郎
5	研究マインドを持った臨床薬剤師養成のための教育プログラムの実践とアウトカムの評価	薬	教授	伊藤 邦彦
6	夏休みファーマカレッジ2025	薬	教授	橋本 博
7	周術期の薬物治療管理能力を醸成する実務実習	薬	教授	内野 智信
8	地域医療に貢献する臨床検査技師養成教育の持続可能なシステムの構築	薬	教授	黒川 洵子
9	Virtual reality(VR)コンテンツの臨床薬学教育への応用とその教育効果:臨床準備教育での教育手法の構築	薬	教授	内田 信也
10	カテキンのヒトパラインフルエンザウイルス感染阻害機構の解明	薬	准教授	高橋 忠伸
11	遺伝子異種発現系を用いた薬用植物由来アルカロイドの創出	薬	准教授	佐藤 道大
12	非アルコール性脂肪肝治療をターゲットとするnon-systemic FFA3アゴニストの合成研究	薬	講師	岩本 憲人
13	がん治療戦略のためのAIを活用したシェイプアップ構造解析	薬	准教授	原 幸大
14	ビフェニル-2-オール類のC-Hアリアル化の反応機構に関する研究	薬	教授	眞鍋 敬
15	緑茶摂取関連情報と新型コロナウイルス感染症罹患の地域差に関する検討	薬	特任教授	山田 浩
16	染色体特異的TERRA発現量測定系の構築とその臨床応用	薬	准教授	井上 和幸
17	静岡産農産物由来エキス含有成分の生物薬剤学的解析と食品・化粧品素材への高次利用	薬	教授	尾上 誠良
18	心筋肥大・心不全進展に対するシソエキス抽出物の効果検討	薬	講師	砂川 陽一
19	生活習慣病予防を指向した微生物発酵緑茶成分の機能性の検討	薬	准教授	刀坂 泰史
20	DNA損傷チェックポイントにおける9-1-1の分子内相互作用のシミュレーション解析	薬	助教	湊上 壮太郎
21	一酸化炭素等価体を用いる開放系カルボニル化反応の反応機構解析	薬	准教授	小西 英之
22	配位子DHTPによる位置選択性制御を活用した含窒素多環式化合物の効率的合成	薬	助教	山口 深雪
23	静岡県産食品素材などによる機能性食品の開発研究	薬	特任教授	山田 静雄

No.	テーマ	学部	代表者	
24	生細胞ベースでの膜タンパク質の分子間相互作用の測定	薬	准教授	兒島 憲二
25	カルニチンおよび類縁体の鏡像異性体一斉分離分析法の開発	薬	助教	古庄 仰
26	生体内で標的分子を吸着・中和する生分解性ナノ粒子の開発	薬	准教授	小出 裕之
27	キノコ由来ステロール化合物群の自発的生成機構の解明	薬	講師	岸本 真治
28	免疫寛容誘導成立における腸管マクロファージの機能	薬	准教授	大橋 若奈
29	エンピリック治療における抗MRSA薬の適正使用基準の構築と投与期間短縮による医療資源効率化の検討	薬	助教	杉山 恭平
30	化学/生物合成を基盤としたシストセンチュウ孵化誘因物質の生合成解明と生物活性評価	薬	助教	渡邊 正悟
31	新規肝臓X受容体リガンド・ウアバゲニンの腎疾患治療薬としての可能性	薬	講師	米澤 正
32	未開拓化学種N-シリルケテンイミンを活用する合成反応の開発と天然物合成	薬	准教授	吉村 文彦
33	筋衛星細胞におけるPIEZO1イオンチャネルの高効率遺伝子操作法	薬	助教	村上 光
34	高度催吐性化学療法を受ける女性患者を対象とした悪心・嘔吐の発現に影響する遺伝的因子の検討	薬	教授	辻 大樹
35	Gタンパク質を介したインスリン分泌制御機構の解析	薬	准教授	木村 俊秀
36	脂肪組織マクロファージ上のGタンパク質共役型受容体を介した肥満病態制御	薬	教授	梅本 英司
37	糖鎖修飾によるNotch受容体活性化制御機構に関する研究	薬	教授	竹内 英之
38	Notch糖タンパク質のグライコプロテオミクスを志向したO-結合型糖鎖認識分子の探索	薬	講師	紅林 佑希
39	ホスファチジルコリン代謝破綻が引き起こす病態発現の機序解析	薬	准教授	土谷 正樹
40	高機能性ノビレチン類似構造体によるβ細胞を標的とした抗糖尿病治療の新たな展開	薬	講師	金子 雪子
41	非小細胞肺がんのオートファジー調節機構に関する構造生物学的解明	薬	講師	菱木 麻美
42	薬剤科学技術の戦略的応用による米糠由来機能性成分の経口吸収性制御	薬	准教授	佐藤 秀行
43	ミニタブレットの臨床使用を目指した全自動錠剤分包機による一包化調剤の実用性評価	薬	講師	三浦 基靖
44	大腸におけるTRPV1を介した制御性T細胞誘導機構の解明	薬	助教	岡村 洋
45	骨格筋幹細胞移植治療を目的とした新規幹細胞純化法の開発	薬	助教	平野 航太郎
46	溶解性改善技術の適用による菊花由来難溶性機能性成分の生物薬剤学的特性向上	薬	助教	山田 幸平
47	褐藻類抽出エキスの膀胱機能に対する作用の検討	薬	講師	伊藤 由彦
48	植物フラボノイドによるオートファジー制御を介した膵β細胞量の調節	薬	教授	石川 智久
49	慢性肝疾患治療候補化合物の作用機序解明に向けた光標識型プローブ分子の開発	薬	教授	濱島 義隆
50	チオカルボニル型有機分子光触媒による含フッ素化学物の合成	薬	准教授	江上 寛通

No.	テーマ	学部	代表者	
51	静岡県産柑橘類に含まれるフラボノイドの合成とプローブ分子化	薬	准教授	稲井 誠
52	トランス脂肪酸の代謝解析のための分子プローブの創製	薬	教授	滝田 良
53	含窒素芳香族化合物のC-H官能基化による創薬ケミカルスペースの拡大	薬	助教	近藤 健
54	薬物徐放性微粒子中に封入した生体親和性無機物質が薬物放出性に与える影響	薬	講師	照喜名 孝之
55	コアモルファスによる難水溶性薬物の溶解性改善機構に関する検討	薬	助教	畑中 友太
56	臓器接触を介した新規細胞外小胞作用経路の解析	薬	助教	疋田 智也
57	腸内細菌代謝産物によるパイエル板貪食細胞の抗原取り込み促進作用の解析	薬	助教	中西 勝宏
58	N-アセチルグルコサミンと認知症との関連性に関する探索的研究	薬	助教	谷澤 康玄
59	化学構造情報を利用した毒性評価手法の開発	薬	教授	吉成 浩一
60	ダイオキシン受容体AHRの組換えタンパク質を用いたAHRの活性化評価系の構築	薬	准教授	志津 怜太
61	核内受容体PXR活性化を介した腸管バリア機能維持のメカニズム解析	薬	助教	大岡 央
62	乾癬治療薬デュクラバシニブの血液中濃度モニタリングに基づく至適投与法の探索	薬	講師	横山 匡
63	第3世代シーケンサーを用いたゲノム解析技術の習得と遺伝子改変マウスの遺伝子挿入部位の探索	薬	助教	清水 聡史
64	細胞力覚の多様性を基軸とした筋線維再生機構の全容解明	薬	教授	原 雄二
65	独創的LNP技術を用いたmRNA抗がん剤の研究開発	薬	教授	浅井 知浩
66	膜電位依存性カルシウムチャンネル薬剤誘導性発現細胞株の樹立	薬	講師	児玉 昌美
67	静岡県特産物由来PENsの抗肝線維化作用とその機序の解明	薬	助教	山口 桃生
68	実験計画法による便秘症治療薬ポリエチレングリコール製剤の服用感改善を目的とした官能的マスキング剤処方検討	薬	助教	河本 小百合
69	Notch受容体上におけるO-結合型糖鎖修飾の構造と機能の解析	薬	助教	塚本 庸平
70	インフルエンザウイルスのA型・B型および血清型を判別可能なシアリダーゼ蛍光イメージング剤の開発	薬	准教授	高橋 忠伸
71	過剰な染色体凝縮を防ぐタンパク質構造基盤	薬	准教授	原 幸大
72	遷移金属フリー脱芳香族的アリール化によるピロロインドリン類合成反応の開発	薬	教授	眞鍋 敬
73	アルギニンメチル化酵素PRMT5を介した心筋細胞肥大メカニズムの解析	薬	准教授	刀坂 泰史
74	二酸化硫黄等価体を用いる多様性志向型硫黄原子導入反応の開発	薬	准教授	小西 英之
75	がん患者のQOL改善薬創出に向けた核酸アプタマーの開発	薬	教授	轟木 堅一郎
76	均一オリゴマー搭載脂質ナノ粒子による炎症性疾患治療法の開発	薬	准教授	小出 裕之
77	脂肪酸不飽和化が司る骨格筋再生メカニズムの解明	薬	助教	村上 光

No.	テーマ	学部	代表者	
78	CDK4/6阻害薬による重篤な有害事象および治療効果に及ぼす遺伝的因子の探索: バイオバンク検体を活用した後ろ向きコホート研究	薬	教授	辻 大樹
79	DNA修復反応を促進する9-1-1クランプの構造生物学的新展開	薬	教授	橋本 博
80	腸内細菌由来代謝分子を介した小腸マクロファージによる血管バリア機能促進機構の解明	薬	教授	梅本 英司
81	がん治療を志向したO-グルコース型糖鎖修飾改変技術の開発	薬	教授	竹内 英之
82	糖鎖生物学を基盤としたノロウイルス感染機構の解析	薬	講師	紅林 佑希
83	コリン代謝の基質選択性の解明に向けたコリンアナログライブラリーの開発	薬	准教授	土谷 正樹
84	新規乳がん治療を目指した転写調節機構の解明	薬	講師	菱木 麻美
85	ポリリポ酸を基盤とする次世代型ナノキャリアによる中分子医薬品の経肺薬物送達技術の開発	薬	准教授	佐藤 秀行
86	骨格筋形成時におけるイオン動態の解明	薬	助教	平野 航太郎
87	<i>In silico</i> modeling & simulation技術の戦略的応用による次世代型の経口ナノドラッグデリバリーシステムの構築	薬	助教	山田 幸平
88	PRMT5を標的とした肝線維化治療薬開発の可能性の検証	薬	教授	石川 智久
89	含硫分子性光触媒によるC-H変換の展開と不斉合成への挑戦	薬	教授	濱島 義隆
90	シアン化カリウムを活用する安定同位体標識化合物の合成法の開拓	薬	助教	近藤 健
91	好中球ヒッチハイク脂質ナノ粒子を用いた新規がん細胞療法の開発	薬	助教	疋田 智也
92	化学構造情報及びインビトロ試験情報を利用した化学物質の類似性評価に基づく毒性プロファイル予測手法の開発	薬	教授	吉成 浩一
93	胆汁酸応答性核内受容体FXRに注目した胆管がん治療薬の探索	薬	准教授	志津 怜太
94	幹細胞の運命を決定する新規細胞分裂機構の全容解明	薬	教授	原 雄二
95	性差を考慮した心臓病治療に資する統合モデルの開発	薬	教授	黒川 洵子
96	高度化LNP技術を用いたがんmRNAワクチンの創製	薬	教授	浅井 知浩
97	新規治療戦略構築に向けた敗血症誘発性心筋症発症機構の解明	薬	講師	児玉 昌美
98	日米中連携による薬用天然物のシンセティックバイオロジー	薬	准教授	佐藤 道大
99	協定締結・交流協定締結を目的としたスタンフォード大学および多国間共同研究	薬	教授	渡辺 賢二
100	国際共同研究を通じたインドネシア・バンドン工科大学との交流プロジェクトの推進	薬	教授	森本 達也
101	マレーシアマラヤ大学との大学間協定締結を志向した研究交流促進	薬	教授	竹内 英之
102	カリフォルニア大学デービス校と協同で行うインターナショナルDX人材育成のためのCOIL型教育	薬	教授	黒川 洵子
103	心身の状況と微量栄養素を含む食事摂取状況との関係に関する調査研究	食品	教授	新井 英一

No.	テーマ	学部	代表者	
104	物理学実験器具の老朽化対策および安全性の向上	食品	准教授	本同 宏成
105	ジクロフェンチオンの塩素置換位置に基づくコリンエステラーゼ阻害能評価に関する研究	食品	教授	牧野 正和
106	超高齢社会の健康課題を克服し、魚の価値を最大限に引き出すための科学的評価指標の開発	食品	教授	三浦 進司
107	静岡県の特産品「自然薯」の有効成分ジオスゲニン生合成遺伝子の解析	食品	教授	三好 規之
108	化学物質のヘモグロビン付加体生成に対する茶成分の影響	食品	教授	増田 修一
109	透析患者の予後改善に向けて:いくつかの栄養評価指標の透析患者での有用性の検討(透析導入疾患別の検討も含めて)	食品	教授	保坂 利男
110	組織の老化を簡便に測定できる新しい評価系の構築	食品	教授	伊吹 裕子
111	児童の主観的咀嚼状況と心身の健康状態および食生活習慣との関連	食品	教授	桑野 稔子
112	濃縮豆乳の粘度上昇を抑制する物質の探索及びその作用メカニズム解析	食品	教授	下山田 真
113	昆虫を活用した新たな水産養殖用飼料の開発	食品	教授	小林 公子
114	水産有用魚の優良系統を護るための新規不妊化技術の開発と高度化	食品	教授	小林 亨
115	Mn(II)酸化真菌の酵素活性BMOを利用したMn-Co-Niの排水リサイクル法の開発	食品	教授	谷 幸則
116	静岡県に生息する二ホンジカ・二ホンイノシシの副産物利用に関する研究ーシカ肉、イノシシ肉および内臓肉の機能性と「おいしさ」の検討ー	食品	教授	市川 陽子
117	20歳ごろの体格と中高年期の肥満、および、メタボリックシンドロームの非巡回有向グラフ (DAG) による因果推論関連:大規模コーホート研究における横断的検討(文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育」認定制度における地域課題の解決)	食品	教授	栗木 清典
118	地域資源を活かしたワサビの脱炭素・温暖化対応栽培技術の開発	食品	教授	谷 晃
119	成分分析と生理機能評価に基づく静岡県産抹茶の特徴付け	食品	教授	熊澤 茂則
120	静岡県下における自主的な社会教育活動に見る包摂的教育に関する実践的研究	食品	教授	角替 弘規
121	ダマスコン類の持続可能な合成と香料としての応用研究	食品	教授	江木 正浩
122	腸管バリア機能の維持におけるクローディンファミリーの役割とバックアップ機構の解明	食品	准教授	林 久由
123	静岡県産バイオマスからの海洋生分解性プラスチック素材の発酵生産	食品	教授	原 清敬
124	簡便で環境に優しい新規ナノファイバー合成法の開発	食品	准教授	永井 大介
125	神経系を介した脂肪機能調節機構の解明並びに健康増進への応用	食品	准教授	内田 邦敏
126	風味デジタル化AIを活用する新たな緑茶ペアリングの提案	食品	准教授	伊藤 圭祐
127	外食・中食店舗における「健康な食事」提供の実現可能性の検討	食品	准教授	串田 修
128	廃棄食品の利用によるフラボノイドの微生物生産	食品	准教授	鮎 信学

No.	テーマ	学部	代表者	
129	生成系AIを活用したタンパク質高次構造の創出	食品	准教授	伊藤 創平
130	ニシギキ科植物マサキの含有成分に関する研究	食品	助教	藁科 力
131	海洋プラスチックごみに含有する難燃剤の汚染実態調査と生態リスク評価	食品	助教	野呂 和嗣
132	茶殻の新規有効利用に関する研究	食品	助教	斎藤 貴江子
133	栄養指導の質向上に向けた栄養指導記録の質的分析	食品	助教	榛葉 有希
134	成人の習慣的な咀嚼意識と心身の健康状態および食・生活習慣との関連の検討	食品	助教	秦 俊貴
135	筋萎縮予防に資するFOXO1活性阻害成分の探索と評価	食品	助教	佐藤 友紀
136	新たな飼料資源・昆虫ミールに秘められた機能性の検証 ～昆虫ミール配合飼料によるトラフグ肥育試験～	食品	助教	大原 裕也
137	褐色脂肪細胞におけるカルシウムイオンの生理的役割の解明	食品	助教	岩瀬 麻里
138	バイオ液肥の利用拡大に向けた高付加価値化技術の開発	食品	助教	徳村 雅弘
139	腸内細菌由来リノール酸代謝物によるMASH改善効果とメカニズムの解明	食品	助教	伊美 友紀子
140	静岡の山×海が生み出した「海底熟成ウィスキー」のフレーバー解析	食品	助教	寺田 祐子
141	The effect of claudin-15 deletion on the characteristics and maturation of fat cells from visceral, subcutaneous, and brown adipose tissue depots in rats	食品	助教	Hempstock Wendy
142	糖結合蛋白質を、光で駆動する糖鎖修飾触媒に改変する	食品	助教	藤浪 大輔
143	澱粉構造に内在する新規分岐構造が消化性に及ぼす影響	食品	助教	本田 千尋
144	温室メロン栽培における果実成長と環境要因の関係性および害虫の発生予測-静岡クラウンメロン栽培の安定化に向けた研究-	食品	助教	増井 昇
145	新規メタン酸化細菌の探索とその特徴づけ	食品	助教	梅澤 和寛
146	高齢者の食べやすさに配慮した新調理システムを活用した主食、主菜の調理法の検討	食品	助教	大槻 尚子
147	ピレン類を基盤とした水溶性光レドックス触媒系の開発	食品	助教	岡本 衆資
148	静岡ガス(株)ビオトープ内に生息する静岡メダカを用いたエストロゲンによる性転換メカニズムの解明に基づく環境エストロゲン有害性試験法の開発	食品	助教	明正 大純
149	オキシネオリグナンが有するファイトアレキシン作用の探索と機能性の解明	食品	助教	繁田 堯
150	亜臨界水を用いた食品残渣からの機能性オリゴ糖製造	食品	助教	村上 和弥
151	高脂肪食およびビタミンD含有量の違いがビタミンD代謝動態におよぼす影響の解明	食品	助教	川上 由香
152	地域の基幹産業である茶を用いての人材育成と県立大学へのアイデンティティの向上	食品	特任教授	中村 順行
153	食・環境・健康の研究推進と情報発信による地域貢献	食品	特任教授	若林 敬二

No.	テーマ	学部	代表者	
154	抑制性マクロファージを特徴づける機能分子の発現制御	食品	教授	永井 重徳
155	多糖／油脂混合エマルジョンゲルのマイクロ構造制御によるテクスチャーデザイン	食品	助教	梁 弘基
156	LPLAT7によるリン脂質のアシル基リモデリングが心機能を制御する	食品	教授	三浦 進司
157	腸内細菌代謝で産生される尿毒症物質の生成阻害剤の開発	食品	教授	三好 規之
158	黄色ブドウ球菌による潜在的発がんメカニズムの解明	食品	教授	増田 修一
159	運動後に血中に増加する代謝物の病態生理学的効果の検討	食品	教授	保坂 利男
160	赤外線による皮膚温度の上昇と皮膚がん増加の関係―熱によるDNA修復分子XPCの核小体への移行と天然変性領域の役割―	食品	教授	伊吹 裕子
161	超高気密な植物工場内で蓄積する有害ガスの実態調査と植物影響	食品	教授	谷 晃
162	高脂肪食・高リン食摂取により誘発される腎障害の発生メカニズムの解明および軽減効果を有する栄養素および機能性成分の探索	食品	教授	新井 英一
163	クローディン2の欠損が腸管機能に与える影響―ゲノム編集ラットモデルを用いた解析	食品	准教授	林 久由
164	改良型SSNに基づく新規インシリコ酵素探索法の開発と応用	食品	准教授	中野祥吾
165	バイオものづくりにおける細胞外生産制御法の開発	食品	教授	原 清敬
166	バイオマス由来グラフェンが均一分散した高分子材料の合成と機能化	食品	准教授	永井 大介
167	細胞内局所温度変化を感知する機構とその意義の解明	食品	准教授	内田 邦敏
168	ヒト嗅覚受容体・香気成分間の網羅的相互作用解析を基盤とする匂いデジタル化技術の開発	食品	准教授	伊藤 圭祐
169	独自の新規酵素探索法を活用したゲノムマイニングで見出した機能未知酵素の機能解析	食品	助教	千菅 太一
170	無翅昆虫・トビムシが獲得した長鎖オメガ3脂肪酸合成経路の生理的意義の解明	食品	助教	大原 裕也
171	青色光に着目した海底熟成ワインのフレーバー生成メカニズムの解明	食品	助教	寺田 祐子
172	ブルネイ産プロポリスの有効利用を目指した成分分析と機能性評価	食品	教授	熊澤 茂則
173	持続可能な食料供給を支える植物の病害抵抗能の解明	食品	准教授	田村 謙太郎
174	室内人工水路を用いた流速が水相パッシブサンプラーの性能へ及ぼす影響の評価	食品	助教	野呂 和嗣
175	茶の花のハチミツに関する研究―タイの茶園における採蜜の検討―	食品	助教	斎藤 貴江子
176	日本―台湾におけるタケ類が放出するイソプレン放出速度の比較および放出推定モデルの検討	食品	助教	増井 昇
177	静岡県立大学の男女共同参画における地域ジェンダー平等推進と「仕事と健康の両立」支援地域アクター連携事業に関する基礎研究	国際	教授	犬塚 協太
178	東アジア学術・文化交流のオフキャンパス型アップデート(その4)	国際	教授	奥藺 秀樹
179	広域ヨーロッパ研究における総合的な支援に関する学際的な研究(1)	国際	教授	栗田 和典

No.	テーマ	学部	代表者	
180	キャリア形成支援を目的とした日本語運用力向上のための教育実践	国際	教授	竹部 歩美
181	市民的素養としての法意識と法的知識:非法学部学生を対象とした教育のあり方	国際	准教授	石川 義道
182	2025年度国際関係学部日本語教員養成課程における日本語教育実習	国際	准教授	酒井 彩
183	海外フィールドワーク実習による互惠的国際協力の実践と教育推進	国際	准教授	孫 暁剛
184	幼児期における子どもの「語り」の言語学的分析	国際	准教授	田村 敏広
185	ポスト・コロナ時代におけるヨーロッパ地域研究と学習支援	国際	教授	森 直香
186	スコットランド言語法案が地域言語の使用状況と学校教育に与える影響	国際	准教授	米山 優子
187	日中関係史の教育推進に関する研究	国際	講師	大野 絢也
188	学生の問題解決力を育む授業に関する研究	国際	講師	二羽 泰子
189	第二言語学習者による英語非対格動詞の過剰受動化現象	国際	助教	岡村 明夢
190	道徳の伝達と再生産を巡る人間—環境の循環システムの解明:奄美群島の民話の分布と聞き手・語り手の解釈に注目した社会生態学的検討からのアプローチ	国際	准教授	坂本 剛
191	基礎教育開発政策の有効性に関する実証分析	国際	教授	小塚 英治
192	アフリカ系アメリカ人ビルドゥングスロマン研究	国際	講師	白木 三慶
193	学際的グローバリゼーション研究における多文化理解に資する越境的対話と交流の推進	国際	教授	石井 由香
194	アジア研究におけるオーラルヒストリーとエスノグラフィーの比較検討	国際	教授	小針 進
195	コミュニティ通訳の現状と課題:理解と育成の足がかりとするために	国際	教授	坂巻 静佳
196	地域社会の多文化共生に向けた大学生のソーシャルアクション(第1期)	国際	教授	高畑 幸
197	静岡県内地域方言の社会言語学的研究(2)	国際	教授	長野 明子
198	文学の地域資源としての活用——駿河・伊豆エリア(地域振興)	国際	教授	細川 光洋
199	河井家文書と日本政治(河井重蔵・弥八を中心に)	国際	教授	前山 亮吉
200	初期近代の金属国際交易ネットワークと静岡——土肥、天正、梅ヶ島の金銀を中心に	国際	教授	松森 奈津子
201	戦時・戦後期における啓蒙運動とメディア	国際	教授	森山 優
202	トランプ2.0の世界と静岡県経済・企業への持続可能性への影響	国際	講師	飯野 光浩
203	静岡市葵区井川における民具の記憶と展示に関する研究——南アルプスユネスコエコパークパートナーシップへの貢献——	国際	助教	村橋 勲
204	移民受け入れ国のデジタル利用の比較研究—外国人看護師・介護士の環流の視点から	国際	教授	米野 みちよ
205	デジタル技術で深化するアクティブラーニング:会計教育における『深い学び』	経情	教授	上野 雄史

No.	テーマ	学部	代表者	
206	データベース実習における個別支援AIチャットボットの開発	経情	助教	相良 陸成
207	動画作成による学生の情報発信力の育成と大学広報基盤の推進	経情	教授	渡邊 貴之
208	外国人介護人材の送り出しから受入れの効果的なスキームを探る	経情	准教授	天野 ゆかり
209	起業を成功に導くマーケティング戦略の構築と実践支援	経情	教授	岩崎 邦彦
210	CT・MRI への画像処理における各種基盤モデルの有効性調査ならびに応用	経情	助教	小田 紘久
211	他者評価のメカニズムの検討:加速度モデルによる分析	経情	准教授	玉利 祐樹
212	在宅医療介護連携評価指標に関する研究	経情	教授	東野 定律
213	スタートアップ支援政策と産業集積の機能～創業・起業支援策、スタートアップ拠点都市(浜松市を含む)の事例等による検証～	経情	教授	岸 昭雄
214	自治体における首長部局と公営企業との連携および人事政策に関する研究―地域公共交通を事例として―	経情	准教授	松岡 清志
215	地域包括ケアに向けた高齢者分野と障害者分野との連携・協働に関する研究	経情	准教授	木村 綾
216	ICTイノベーション研究センターを基盤とした産官学民連携活動の推進に関する研究	経情	教授	武藤 伸明
217	災害時における衛星インターネットの効果的な活用に関する研究	経情	教授	湯瀬 裕昭
218	プロ野球本拠地球場の開場に起因する観光変容を主とした町への影響	経情	教授	内海 佐和子
219	映画制作における地域づくりの効果に関する研究	経情	教授	大久保 あかね
220	持続可能な観光振興に向けたオーバーツーリズム対策～特定地域への入域制限・行動調整のあり方と方法論の現状と課題～	経情	講師	寺崎 竜雄
221	静岡における社会的課題に応える政策研究	経情	教授	藤本 健太郎
222	日欧共創プログラム構築と地域課題への応用:AIを活用した持続可能性の実現	経情	教授	上野 雄史
223	特定行為研修を受講する看護師の臨床判断力の育成に関する研究	看護	教授	荒井 孝子
224	チーム医療を実践する臨地実習に関する教育プログラムの評価	看護	教授	山田 紋子
225	シナリオを活用したシミュレーション教育の臨地実習への効果に関する研究	看護	教授	林 みよ子
226	ストレス緩和を目的としたアグリヒーリングプログラム開発と実践による効果評価	看護	教授	篁 宗一
227	災害看護教育における臨床判断力の強化を目指した教育プログラムの開発	看護	講師	根岸 まゆみ
228	大学生のデジタル眼精疲労の実態とアイケアの検討	看護	助教	三沢 萌伽
229	基礎看護技術演習の事前学習にオリジナルの視聴覚教材を活用することの評価	看護	助教	小原 陽子
230	看護基礎教育におけるシミュレーション教育のデブリーフィングの検討	看護	講師	鈴木 郁美
231	排泄ケア初学者におけるAI搭載超音波画像診断装置による膀胱容量測定の有用性と補助を要した内容についての検討	看護	助教	佐藤 理乃
232	看護学生におけるBLSプロバイダーコース技術の習得レベルに関する研究	看護	助教	中岡 正昭

No.	テーマ	学部	代表者	
233	Digital Transformation(DX)を用いた老年看護学教育の新たな価値と創造	看護	特任教授	鈴木 みずえ
234	災害時における難病療養者の協働支援体制構築に向けた課題の検討	看護	准教授	小池 潤
235	静岡県在住高齢者の座位行動時間と身体的フレイルの関係	看護	講師	管原 清子
236	エコーによる嚥下機能評価の現状と課題:文献レビューを通じた今後の研究方向性の提案	看護	講師	野津 美香子
237	助産師養成課程における更年期・老年期の骨盤臓器脱教育に関する研究	看護	准教授	福島 恭子
238	毒性発現に寄与する大気汚染物質の実態評価	看護	助教	三崎 健太郎
239	保育園での看護に従事する看護師の活動の実際ー重症心身障がい児の療育の場の拡大を目指してー	看護	助教	池田 麻左子
240	孫育てを通じたシニア世代の交流に関する研究ー孫育て支援プログラムの開発に向けてー	看護	助教	大和田 裕美
241	開業助産師が考える「待つお産」のとらえ方	看護	助教	池田 美音
242	静岡県内の分娩施設退院後に母親が抱く産後ケアニーズに関する研究	看護	助教	高橋 明味
243	地域特性に応じた重層的支援体制整備プロジェクト～包括的な相談支援整備と参加支援の創出にむけて～	看護	助教	栗田 真由美
244	地域における更年期女性の健康に関する意識の現状と健康支援の検討	看護	准教授	永谷 実穂
245	培養マクロファージにおける環境中微粒子局在と細胞活性化の相関可視化	看護	助教	赤路 佐希子
246	妊娠期からの助産所助産師との交流が女性の妊娠・出産・子育てに与える影響ー他施設で出産する女性に焦点を当ててー	看護	助教	大和田 裕美
247	高度急性期病院におけるプラチナナースの人材活用に関する研究ー病棟師長のプラチナナースへの就業継続支援に焦点をあててー	看護	講師	加納 江理
248	転倒のコンピテンス測定ツール「Stromqvist Baathe Falling Competence Test」(SBFC-Test)の3か国語への翻訳とその妥当性の検証	看護	教授	竹熊カツマタ 麻子
249	Critical care nursingに関するintegrated literature review:コンケン大学との共同研究プロジェクト	看護	教授	操 華子
250	看護学部におけるCOIL活用によるグローバル教育改革プロジェクト	看護	講師	根岸 まゆみ
251	アルテベルデ応用科学大学における欧州連合の高等教育機関の共同教育モデル:多職種緩和ケア・終末期ケアプログラムへの参画	看護	教授	竹熊カツマタ 麻子
252	Speaking Fluency in Japanese Learners of English Across Proficiency Levels	言コミ	特任講師	Arshavskaia Ekaterina
253	Contrastive rhetoric and written corrective feedback	言コミ	特任講師	Lawrence Knowles
254	The Effects of AI-generated Video and Audio Feedback	言コミ	特任講師	ヘルナンデス・ハワード・ハロルド
255	Social Capital and English Language Learning Among Nursing and Pharmacy Students of the University of Shizuoka	言コミ	特任講師	Figer Reggy Capacio
256	Exploring the Long-Term Impact of Learner-Generated AI Visuals on EFL Vocabulary Acquisition and Retention	言コミ	特任講師	MOSTAFANEZHAD Mohammad
257	オノマトペをつかった身体的表現とそれらの教育的含意——SPAC俳優による演劇ワークショップをとおして	言コミ	教授	藤森 敦之

No.	テーマ	学部	代表者	
258	模擬患者(Simulated Patient: SP)を活用した歯科衛生士のコミュニケーション教育の継続的学習方略の比較検討	短大	准教授	長谷 由紀子
259	対話型鑑賞は歯科衛生士のネガティブケイパビリティを育むか	短大	准教授	金山 圭一
260	通いの場における口腔機能向上を目指した介護予防推進事業実習教育プログラムの検証―地域包括ケアシステムに活きる歯科衛生士の育成―	短大	講師	山本 智美
261	インクルーシブな社会の実現にむけた障害者歯科に関する歯科衛生士の実践的教育の効果検証	短大	講師	松原 ちあき
262	歯科衛生士学生の職業的価値観の評価	短大	講師	小林 由佳梨
263	介護職によるシーティング実践のための座位姿勢アセスメントシートの開発	短大	准教授	木林 身江子
264	腸オルガノイドを用いた消化管透過性の検討	短大	准教授	竹下 典子
265	歯周炎における歯根膜破壊の抑制及び悪性腫瘍細胞の転移の阻止を目的とする基礎的研究	短大	教授	吉田 直樹
266	指定避難所における福祉避難スペース設置・運営に関する実践研究	短大	准教授	江原 勝幸
267	“年収の壁”に関する考察	短大	准教授	中澤 秀一
268	地域で活躍する介護福祉士の役割の明確化とその能力開発に関する実践的研究	短大	准教授	奥田 都子
269	父親のための「子育て手帳」の開発に向けて	短大	教授	小林 佐知子
270	幼稚園における施設・空間の保育的価値の社会学的研究	短大	講師	甲賀 崇史
271	日本と韓国の保育現場における「同僚性」が育まれる「組織文化づくり」への取り組み	短大	助教	崔 美美
272	女性として書く男性作家― L・フランク・ボームの筆名使用をめぐって	短大	准教授	有元 志保
273	社会的決定要因と8020(ハチマルニイマル)運動の認知度とが現在歯数に及ぼす影響	短大	教授	野口 有紀
274	日本と韓国の保育者が捉える「保育職の魅力」についての検討	短大	助教	崔 美美
275	高齢期における歯科医療に着目した歯科衛生士の国際交流の推進に関わる方法の検討	短大	講師	松原 ちあき

学部研究推進

No.	テーマ	学部	代表者	
1	異分野融合による創薬研究の推進と研究人材の育成	薬	教授	浅井 知浩
2	高付加価値医薬品を創出する複合基礎研究の展開と研究指向型薬学人材の輩出	薬	教授	近藤 啓
3	令和7年度食品栄養科学部改革推進費	食品	教授	伊吹 裕子
4	食品栄養科学部における学部発展のための教育改革と研究推進	食品	教授	増田 修一
5	食品栄養科学部および大学院食品栄養科学・環境科学専攻の学生に対する就職支援活動	食品	教授	増田 修一
6	部局高等教育の活性化 ― 電子ジャーナルによる研究活動支援と広報活動促進	食品	教授	三浦 進司
7	海外交流協定校の教員を活用する研究指導支援の取組	国際	教授	飯野 勝己
8	国際関係学部オープンキャンパス実施に関する研究	国際	教授	森 直香
9	研究科におけるグローバルヒストリーの枠組みを取り入れた専門教育の推進	国際	教授	米野 みちよ
10	海外授業及び海外フィールド・ワークの実践(継続)	国際	教授	小針 進
11	伝統武術・スポーツのグローバル化と社会的影響に関する領域横断的研究	国際	教授	奈倉 京子
12	ムセイオン静岡を通じた地域一体型教養教育と人材育成	国際	教授	鈴木 さやか
13	COIL活動の実施と参加者の満足度比較に関する継続調査	国際	教授	澤崎 宏一
14	日本研究プログラム専門科目「日本芸能論」におけるゲスト講義の実施	国際	教授	吉田 真樹
15	国際関係学部・研究科の広報戦略に関する研究	国際	准教授	田村 敏広
16	看護教育における初年度科学教育と専門教育の連携について－基礎健康科学演習を含めた初年度教育の充実と専門教育への橋渡しモデルカリキュラムの提案－	看護	教授	井上 健一郎
17	コンケン大学看護学部および米国他大学の国際交流に関する研究	看護	教授	竹熊カツマタ 麻子
18	地域住民と地域の看護職との交流を生かした看護基礎教育の推進	看護	教授	富安 眞理
19	保育・幼児教育・子育て支援に関する研修会等派遣事業	短大	准教授	松浦 崇